

＜所属機関1別＞
C:小児治療の参加に対する意識の記述統計

	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
61 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	国公立大学病院	319	2.232	.818	1	4
	私立大学病院	201	2.129	.820	1	4
	国公立小児病院	231	2.108	.855	1	4
	私立小児病院	11	2.091	.944	1	4
62 自分には小児治療に取り組むための知識・技能がある	国公立大学病院	318	2.258	.784	1	4
	私立大学病院	201	2.244	.725	1	4
	国公立小児病院	229	2.245	.738	1	4
	私立小児病院	11	2.545	.820	1	4
63 現在自分は小児治療に積極的に取り組むことのできる環境にいる	国公立大学病院	319	2.705	.732	1	4
	私立大学病院	201	2.557	.733	1	4
	国公立小児病院	231	2.649	.742	1	4
	私立小児病院	11	2.545	.820	1	4
64 今後自分は小児治療に積極的に取り組んでいきたい	国公立大学病院	314	2.796	.632	1	4
	私立大学病院	200	2.775	.605	1	4
	国公立小児病院	229	2.747	.633	1	4
	私立小児病院	11	2.727	.786	1	4

<所属機関1別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間 グループ内	3 762	1.431	0.232
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間 グループ内	3 732	1.560	0.198
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間 グループ内	3 762	1.783	0.149
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	グループ間 グループ内	3 759	0.678	0.566
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	グループ間 グループ内	3 762	1.243	0.293
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間 グループ内	3 749	0.999	0.393
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	グループ間 グループ内	3 759	0.174	0.914
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	グループ間 グループ内	3 753	1.621	0.183
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	グループ間 グループ内	3 763	1.761	0.153
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間 グループ内	3 760	1.405	0.240
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間 グループ内	3 761	0.639	0.590
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間 グループ内	3 758	0.356	0.785
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間 グループ内	3 761	0.978	0.403
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間 グループ内	3 759	2.916	0.033
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	グループ間 グループ内	3 759	1.262	0.286
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	グループ間 グループ内	3 744	2.158	0.092
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間 グループ内	3 761	2.078	0.102
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間 グループ内	3 755	3.254	0.021
a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間 グループ内	3 761	1.777	0.150
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間 グループ内	3 755	3.993	0.008

<所属機関1別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	グループ間 グループ内	3 760	1.895	0.129
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	グループ間 グループ内	3 760	1.794	0.147
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	グループ間 グループ内	3 762	1.227	0.299
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	グループ間 グループ内	3 760	0.266	0.850
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	グループ間 グループ内	3 752	3.002	0.030
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	グループ間 グループ内	3 759	0.552	0.647
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	3 759	0.840	0.472
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	グループ間 グループ内	3 755	1.098	0.349
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	3 758	0.391	0.760
b20 小児治験に対して興味や関心がない	グループ間 グループ内	3 759	0.280	0.840
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	3 751	0.334	0.801
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	グループ間 グループ内	3 757	0.094	0.963
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	3 756	1.300	0.273
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	グループ間 グループ内	3 758	0.241	0.868
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	3 751	1.560	0.198
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	グループ間 グループ内	3 756	0.480	0.696
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	3 751	1.839	0.139
b36 子どもを対象として治験を行うことがためられる	グループ間 グループ内	3 756	0.363	0.780
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	グループ間 グループ内	3 755	3.459	0.016
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	グループ間 グループ内	3 749	0.744	0.526

<所属機関1別> B:小児治験の課題に対する意識得点の差（分散分析）

項目		自由度	F 値	有意確率
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	グループ間 グループ内	3 757	0.970	0.406
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	3 761	0.719	0.541
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	グループ間 グループ内	3 759	0.899	0.441
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	3 760	0.502	0.681
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	グループ間 グループ内	3 757	0.283	0.837
46「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	グループ間 グループ内	3 761	1.387	0.246
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	グループ間 グループ内	3 760	0.172	0.915
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	3 757	5.096	0.002
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	3 759	0.347	0.791
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	3 747	0.697	0.554
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	グループ間 グループ内	3 755	1.378	0.248
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	3 758	0.571	0.634
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	3 759	0.300	0.826
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	グループ間 グループ内	3 756	1.714	0.163
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	グループ間 グループ内	3 755	1.102	0.347
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	グループ間 グループ内	3 757	1.202	0.308
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	3 759	1.316	0.268
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	グループ間 グループ内	3 759	1.422	0.235
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	3 756	1.207	0.306
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	3 749	0.654	0.580

<所属機関1別> C:小児治験の参加に対する意識得点の差（分散分析）

項目		自由 度	F 値	有意 確率
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	グループ間 グループ内	3 758	1.200	0.309
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	グループ間 グループ内	3 755	0.573	0.633
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	グループ間 グループ内	3 758	1.733	0.159
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	グループ間 グループ内	3 750	0.295	0.829

<所属機関1別> 小児治験に対する意識得点の差（多重比較）

国公立大学病院 * 国公立小児病院

項目		(I) A1 所属機関 1	(J) A1 所属機関 1	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
促進	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	国公立 大学病院	国公立 小児病院	.138*	.020
	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい			.165*	.009
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題への ケアが必要である			.139*	.026

私立大学病院 * 国公立小児病院

項目		(I) A1 所属機関 1	(J) A1 所属機関 1	平均値 の差 (I-J)	有意 確率
課題	48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題への ケアが必要である	私立 大学病院	国公立 小児病院	.162*	.018

<所属機関2別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)の記述統計

項目	属性	属性				項目	属性	属性					
		小児専門病院	小児専門でない病院	小児科	小児科でない			小児専門病院	小児専門でない病院	小児科	小児科でない		
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児専門病院	257	3,510	553	2	4	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	小児専門病院	258	3,085	572	2	4
	小児専門でない病院	517	3,393	586	1	4		小児専門でない病院	515	3,080	591	1	4
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児専門病院	244	3,467	547	2	4	a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	小児専門病院	256	2,957	533	1	4
	小児専門でない病院	500	3,466	545	1	4		小児専門でない病院	514	3,010	494	1	4
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	小児専門病院	258	3,484	545	2	4	a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	小児専門病院	257	3,237	601	2	4
	小児専門でない病院	516	3,492	527	1	4		小児専門でない病院	516	3,153	625	1	4
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	小児専門病院	257	3,397	506	2	4	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	小児専門病院	257	3,148	560	2	4
	小児専門でない病院	513	3,384	522	1	4		小児専門でない病院	514	3,214	576	2	4
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	小児専門病院	257	3,444	521	2	4	a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	小児専門病院	256	3,277	506	2	4
	小児専門でない病院	517	3,470	526	2	4		小児専門でない病院	515	3,332	526	2	4
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	小児専門病院	252	2,651	761	1	4	a31 新薬を使用することは患者への貢献となる	小児専門病院	249	2,976	531	2	4
	小児専門でない病院	509	2,648	696	1	4		小児専門でない病院	506	2,996	534	2	4
a13 未承認薬でも必要とする患者がいるため使用せざるを得ない	小児専門病院	257	3,486	531	2	4	a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	小児専門病院	258	3,271	487	2	4
	小児専門でない病院	514	3,494	531	2	4		小児専門でない病院	515	3,336	508	2	4
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	小児専門病院	254	2,992	555	1	4	a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	小児専門病院	255	3,018	517	1	4
	小児専門でない病院	511	3,057	534	1	4		小児専門でない病院	511	3,092	529	1	4
a17 小児用医薬品の安全性の確保が必要である	小児専門病院	258	3,380	502	2	4	a37 小児医療の質を向上させなければならない	小児専門病院	258	3,422	503	2	4
	小児専門でない病院	517	3,414	497	2	4		小児専門でない病院	515	3,478	519	1	4
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	小児専門病院	257	3,047	564	1	4	a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	小児専門病院	254	2,921	571	1	4
	小児専門でない病院	515	3,151	503	2	4		小児専門でない病院	512	2,990	588	1	4

<所属機関2別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)の記述統計

項目	属性	属性				項目	属性	属性					
		小児専門病院	小児専門でない病院	小児科	小児科でない			小児専門病院	小児専門でない病院	小児科	小児科でない		
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	小児専門病院	256	2,723	701	1	4	b22 小児治験の参加について患者の理解と同意を得ることができない	小児専門病院	254	2,409	693	1	4
	小児専門でない病院	516	2,874	767	1	4		小児専門でない病院	509	2,356	680	1	4
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	小児専門病院	258	3,163	698	1	4	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	小児専門病院	253	2,423	678	1	4
	小児専門でない病院	514	3,218	654	2	4		小児専門でない病院	514	2,362	676	1	4
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	小児専門病院	258	2,744	767	1	4	b26 小児治験の参加について患者の理解と同意を得るための方法がわからない	小児専門病院	255	2,298	606	1	4
	小児専門でない病院	516	2,746	696	1	4		小児専門でない病院	513	2,298	605	1	4
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	小児専門病院	258	3,186	669	1	4	b28 有害事象時の対応が可能か不安である	小児専門病院	258	2,748	587	1	4
	小児専門でない病院	514	3,115	664	1	4		小児専門でない病院	512	2,734	635	1	4
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	小児専門病院	255	2,341	644	1	4	b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	小児専門病院	255	2,098	556	1	4
	小児専門でない病院	509	2,446	605	1	4		小児専門でない病院	508	2,144	552	1	4
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	小児専門病院	257	3,272	609	1	4	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	小児専門病院	253	2,632	639	1	4
	小児専門でない病院	514	3,268	584	1	4		小児専門でない病院	514	2,595	655	1	4
b14 小児治験について患者へ説明することが難しい	小児専門病院	258	2,860	657	1	4	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	小児専門病院	251	2,171	520	1	4
	小児専門でない病院	513	2,926	683	1	4		小児専門でない病院	511	2,229	604	1	4
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	小児専門病院	256	2,793	675	1	4	b36 子どもを対象として治験を行うことがた めらわれる	小児専門病院	254	2,059	570	1	4
	小児専門でない病院	511	2,818	633	1	4		小児専門でない病院	513	2,090	579	1	4
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	小児専門病院	257	2,759	721	1	4	b38 小児治験に参加しようとする患者や保護者は少ない	小児専門病院	254	2,472	669	1	4
	小児専門でない病院	512	2,840	698	1	4		小児専門でない病院	513	2,519	679	1	4
b20 小児治験に対して興味や関心がない	小児専門病院	257	1,817	560	1	4	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	小児専門病院	251	2,494	628	1	4
	小児専門でない病院	513	1,791	591	1	4		小児専門でない病院	508	2,563	617	1	4

<所属機関2別> B:小児治験の課題に対する意識の記述統計

項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	小児専門病院	254	3.004	.475	2	4	51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	小児専門病院	255	3.275	.513	2	4
	小児専門でない病院	514	3.018	.475	1	4		小児専門でない病院	511	3.362	.539	1	4
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	小児専門病院	258	3.368	.491	2	4	52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児専門病院	256	3.398	.498	2	4
	小児専門でない病院	515	3.381	.513	1	4		小児専門でない病院	514	3.426	.529	1	4
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	小児専門病院	256	3.363	.521	2	4	53 有害事象発生時の支援体制があると良い	小児専門病院	257	3.455	.507	2	4
	小児専門でない病院	515	3.361	.549	1	4		小児専門でない病院	514	3.473	.523	2	4
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児専門病院	257	3.377	.509	2	4	54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	小児専門病院	256	3.238	.693	1	4
	小児専門でない病院	515	3.381	.521	1	4		小児専門でない病院	512	3.318	.627	1	4
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	小児専門病院	256	3.066	.560	1	4	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	小児専門病院	255	3.133	.580	1	4
	小児専門でない病院	513	3.078	.576	1	4		小児専門でない病院	512	3.229	.581	1	4
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	小児専門病院	258	3.279	.529	2	4	56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	小児専門病院	257	3.300	.537	2	4
	小児専門でない病院	515	3.254	.561	1	4		小児専門でない病院	511	3.284	.597	2	4
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	小児専門病院	258	3.298	.529	2	4	57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	小児専門病院	258	3.353	.525	2	4
	小児専門でない病院	515	3.305	.513	1	4		小児専門でない病院	513	3.392	.516	2	4
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児専門病院	257	3.074	.565	1	4	58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	小児専門病院	257	3.121	.623	1	4
	小児専門でない病院	512	3.203	.536	1	4		小児専門でない病院	514	3.226	.558	1	4
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	小児専門病院	256	3.414	.524	2	4	59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児専門病院	257	3.058	.538	1	4
	小児専門でない病院	515	3.404	.518	2	4		小児専門でない病院	511	3.159	.550	1	4
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	小児専門病院	250	3.078	.579	1	4	60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	小児専門病院	253	3.178	.516	1	4
	小児専門でない病院	508	3.098	.535	2	4		小児専門でない病院	507	3.219	.508	2	4

<所属機関2別> C:小児治験の参加に対する意識の記述統計

項目	属性	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	小児専門病院	257	2.105	.844	1	4
	小児専門でない病院	513	2.191	.831	1	4
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	小児専門病院	255	2.243	.745	1	4
	小児専門でない病院	512	2.260	.764	1	4
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	小児専門病院	257	2.665	.737	1	4
	小児専門でない病院	513	2.639	.735	1	4
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	小児専門病院	255	2.761	.622	1	4
	小児専門でない病院	508	2.783	.628	1	4

<所属機関2別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)得点の差

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	等分散性のためのLeveneの検定		2つの母平均の差の検定			
					F値	有意確率	t値	自由度	有意確率(両側)	平均値の差
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	小児専門病院	257	3.51	0.553	0.508	0.476	2.666	772	0.008	0.117
	小児専門でない病院	517	3.39	0.586						
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	小児専門病院	244	3.47	0.547	0.157	0.692	0.028	742	0.977	0.001
	小児専門でない病院	500	3.47	0.545						
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	小児専門病院	258	3.48	0.545	1.361	0.244	-0.191	772	0.849	-0.008
	小児専門でない病院	516	3.49	0.527						
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	小児専門病院	257	3.40	0.506	0.119	0.730	0.326	768	0.744	0.013
	小児専門でない病院	513	3.38	0.522						
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	小児専門病院	257	3.44	0.521	0.447	0.504	-0.661	772	0.509	-0.026
	小児専門でない病院	517	3.47	0.526						
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	小児専門病院	252	2.65	0.761	1.438	0.231	0.045	759	0.964	0.002
	小児専門でない病院	509	2.65	0.696						
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	小児専門病院	257	3.49	0.531	0.000	0.995	-0.192	769	0.848	-0.008
	小児専門でない病院	514	3.49	0.531						
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	小児専門病院	254	2.99	0.555	1.107	0.293	-1.556	763	0.120	-0.065
	小児専門でない病院	511	3.06	0.534						
a17 小児用医薬品の安全性の確保が必要である	小児専門病院	258	3.38	0.502	0.616	0.433	-0.897	773	0.370	-0.034
	小児専門でない病院	517	3.41	0.497						
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	小児専門病院	257	3.05	0.564	1.473	0.225	-2.617	770	0.009	-0.105
	小児専門でない病院	515	3.15	0.503						
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	小児専門病院	258	3.09	0.572	0.095	0.758	0.127	771	0.899	0.006
	小児専門でない病院	515	3.08	0.591						
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	小児専門病院	256	2.96	0.533	3.773	0.052	-1.358	768	0.175	-0.053
	小児専門でない病院	514	3.01	0.494						
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	小児専門病院	257	3.24	0.601	0.598	0.440	1.789	771	0.074	0.084
	小児専門でない病院	516	3.15	0.625						
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	小児専門病院	257	3.15	0.560	3.947	0.047	-1.530	525	0.127	-0.066
	小児専門でない病院	514	3.21	0.576						
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	小児専門病院	256	3.28	0.506	5.230	0.022	-1.395	527	0.164	-0.055
	小児専門でない病院	515	3.33	0.526						
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	小児専門病院	249	2.98	0.531	0.092	0.762	-0.488	753	0.625	-0.020
	小児専門でない病院	506	3.00	0.534						
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	小児専門病院	258	3.27	0.487	8.115	0.005	-1.713	534	0.087	-0.065
	小児専門でない病院	515	3.34	0.508						
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	小児専門病院	255	3.02	0.517	3.471	0.063	-1.895	764	0.058	-0.076
	小児専門でない病院	511	3.09	0.529						
a37 小児医療の質を向上させなければならない	小児専門病院	258	3.42	0.503	3.377	0.067	-1.409	771	0.159	-0.055
	小児専門でない病院	515	3.48	0.519						
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	小児専門病院	254	2.92	0.571	0.079	0.778	-1.542	764	0.123	-0.069
	小児専門でない病院	512	2.99	0.588						

<所属機関2別> Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)得点の差

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	等分散性のためのLeveneの検定		2つの母平均の差の検定			
					F値	有意確率	t値	自由度	有意確率(両側)	平均値の差
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	小児専門病院	256	2.72	0.701	0.001	0.976	-2.656	770	0.008	-0.151
	小児専門でない病院	516	2.87	0.767						
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	小児専門病院	258	3.16	0.698	0.315	0.575	-1.079	770	0.281	-0.055
	小児専門でない病院	514	3.22	0.654						
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	小児専門病院	258	2.74	0.767	5.208	0.023	-0.034	473	0.973	-0.002
	小児専門でない病院	516	2.75	0.696						
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	小児専門病院	258	3.19	0.669	1.530	0.217	1.403	770	0.161	0.071
	小児専門でない病院	514	3.11	0.664						
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	小児専門病院	255	2.34	0.644	0.183	0.669	-2.210	762	0.027	-0.105
	小児専門でない病院	509	2.45	0.605						
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	小児専門病院	257	3.27	0.609	1.345	0.247	0.086	769	0.932	0.004
	小児専門でない病院	514	3.27	0.584						
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	小児専門病院	258	2.86	0.657	0.146	0.702	-1.271	769	0.204	-0.065
	小児専門でない病院	513	2.93	0.683						
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	小児専門病院	256	2.79	0.675	3.673	0.056	-0.505	765	0.613	-0.025
	小児専門でない病院	511	2.82	0.633						
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	小児専門病院	257	2.76	0.721	2.571	0.109	-1.503	767	0.133	-0.081
	小児専門でない病院	512	2.84	0.698						
b20 小児治験に対して興味や関心がない	小児専門病院	257	1.82	0.560	2.435	0.119	0.579	768	0.563	0.026
	小児専門でない病院	513	1.79	0.591						
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	小児専門病院	254	2.41	0.693	0.481	0.488	1.025	761	0.306	0.054
	小児専門でない病院	509	2.36	0.680						
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	小児専門病院	253	2.42	0.678	0.167	0.683	1.175	765	0.241	0.061
	小児専門でない病院	514	2.36	0.676						
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	小児専門病院	255	2.30	0.606	0.133	0.716	-0.004	766	0.996	0.000
	小児専門でない病院	513	2.30	0.605						
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	小児専門病院	258	2.75	0.587	1.895	0.169	0.289	768	0.772	0.014
	小児専門でない病院	512	2.73	0.635						
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	小児専門病院	255	2.10	0.556	1.707	0.192	-1.075	761	0.283	-0.046
	小児専門でない病院	508	2.14	0.552						
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	小児専門病院	253	2.63	0.639	1.215	0.271	0.743	765	0.457	0.037
	小児専門でない病院	514	2.60	0.655						
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	小児専門病院	251	2.17	0.520	9.674	0.002	-1.362	569	0.174	-0.058
	小児専門でない病院	511	2.23	0.604						
b36 子どもを対象として治験を行うことがためられる	小児専門病院	254	2.06	0.570	0.904	0.342	-0.692	765	0.489	-0.031
	小児専門でない病院	513	2.09	0.579						
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	小児専門病院	254	2.47	0.669	0.230	0.632	-0.889	765	0.374	-0.046
	小児専門でない病院	513	2.52	0.679						
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	小児専門病院	251	2.49	0.628	0.359	0.549	-1.440	757	0.150	-0.069
	小児専門でない病院	508	2.56	0.617						

<所属機関2別> B:小児治験の課題に対する意識の差

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	等分散性のためのLeveneの検定		2つの母平均の差の検定			
					F値	有意確率	t値	自由度	有意確率(両側)	平均値の差
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	小児専門病院	254	3.00	0.475	0.006	0.941	-0.319	766	0.750	-0.012
	小児専門でない病院	514	3.02	0.475						
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	小児専門病院	258	3.37	0.491	1.749	0.186	-0.320	771	0.749	-0.012
	小児専門でない病院	515	3.38	0.513						
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	小児専門病院	256	3.36	0.521	0.724	0.395	0.051	769	0.959	0.002
	小児専門でない病院	515	3.36	0.549						
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児専門病院	257	3.38	0.509	0.239	0.625	-0.080	770	0.936	-0.003
	小児専門でない病院	515	3.38	0.521						
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	小児専門病院	256	3.07	0.560	1.098	0.295	-0.220	767	0.826	-0.010
	小児専門でない病院	513	3.08	0.576						
46 「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	小児専門病院	258	3.28	0.529	0.049	0.825	0.588	771	0.556	0.025
	小児専門でない病院	515	3.25	0.561						
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	小児専門病院	258	3.30	0.529	0.400	0.527	-0.162	771	0.871	-0.006
	小児専門でない病院	515	3.30	0.513						
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児専門病院	257	3.07	0.565	3.086	0.079	-3.096	767	0.002	-0.129
	小児専門でない病院	512	3.20	0.536						
49 適応外の現状について社会全体に啓発していく必要がある	小児専門病院	256	3.41	0.524	0.285	0.594	0.256	769	0.798	0.010
	小児専門でない病院	515	3.40	0.518						
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	小児専門病院	250	3.08	0.579	0.051	0.822	-0.528	756	0.598	-0.022
	小児専門でない病院	508	3.10	0.535						
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	小児専門病院	255	3.27	0.513	9.525	0.002	-2.189	531	0.029	-0.088
	小児専門でない病院	511	3.36	0.539						
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	小児専門病院	256	3.40	0.498	3.462	0.063	-0.696	768	0.487	-0.028
	小児専門でない病院	514	3.43	0.529						
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	小児専門病院	257	3.46	0.507	1.992	0.159	-0.443	769	0.658	-0.018
	小児専門でない病院	514	3.47	0.523						
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	小児専門病院	256	3.24	0.693	0.708	0.400	-1.610	766	0.108	-0.080
	小児専門でない病院	512	3.32	0.627						
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	小児専門病院	255	3.13	0.580	3.980	0.046	-2.140	508	0.033	-0.095
	小児専門でない病院	512	3.23	0.581						
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	小児専門病院	257	3.30	0.537	3.656	0.056	0.359	766	0.720	0.016
	小児専門でない病院	511	3.28	0.597						
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	小児専門病院	258	3.35	0.525	0.260	0.610	-0.987	769	0.324	-0.039
	小児専門でない病院	513	3.39	0.516						
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	小児専門病院	257	3.12	0.623	0.000	0.992	-2.369	769	0.018	-0.105
	小児専門でない病院	514	3.23	0.558						
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	小児専門病院	257	3.06	0.538	6.839	0.009	-2.416	523	0.016	-0.100
	小児専門でない病院	511	3.16	0.550						
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	小児専門病院	253	3.18	0.516	1.178	0.278	-1.045	758	0.296	-0.041
	小児専門でない病院	507	3.22	0.508						

<所属機関2別> C:小児治験の参加に対する意識の差

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	等分散性のためのLeveneの検定		2つの母平均の差の検定			
					F値	有意確率	t値	自由度	有意確率(両側)	平均値の差
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	小児専門病院	257	2.11	0.844	0.238	0.626	-1.347	768	0.178	-0.086
	小児専門でない病院	513	2.19	0.831						
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	小児専門病院	255	2.24	0.745	0.361	0.548	-0.286	765	0.775	-0.017
	小児専門でない病院	512	2.26	0.764						
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	小児専門病院	257	2.67	0.737	0.007	0.933	0.462	768	0.644	0.026
	小児専門でない病院	513	2.64	0.735						
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	小児専門病院	255	2.76	0.622	0.000	0.992	-0.472	761	0.637	-0.023
	小児専門でない病院	508	2.78	0.628						

<臨床経験年数別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)の記述統計

項目	属性	5年未満				5年以上10年未満				10年以上15年未満				15年以上20年未満				20年以上25年未満				25年以上30年未満				30年以上																																																																							
		人数	平均	標準偏差	最小値	人数	平均	標準偏差	最小値	人数	平均	標準偏差	最小値	人数	平均	標準偏差	最小値	人数	平均	標準偏差	最小値	人数	平均	標準偏差	最小値																																																																								
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	5年未満	45	3.089	557	2	4	a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	5年未満	45	3.067	495	2	4	5年以上10年未満	193	3.088	575	2	4	5年以上10年未満	193	3.088	575	2	4	10年以上15年未満	155	3.071	625	1	4	10年以上15年未満	155	3.071	625	1	4	15年以上20年未満	138	3.101	570	2	4	15年以上20年未満	138	3.101	570	2	4	20年以上25年未満	113	3.035	626	1	4	20年以上25年未満	113	3.035	626	1	4	25年以上30年未満	82	3.159	577	2	4	25年以上30年未満	82	3.159	577	2	4	30年以上	59	3.644	517	2	4	30年以上	59	3.644	517	2	4												
	5年以上10年未満	193	3.321	550	2	4		5年以上10年未満	192	3.078	500	1	4	5年以上10年未満	192	3.078	500	1	4	5年以上10年未満	192	3.078	500	1	4	10年以上15年未満	155	2.968	540	1	4	10年以上15年未満	155	2.968	540	1	4	15年以上20年未満	136	2.941	452	2	4	15年以上20年未満	136	2.941	452	2	4	20年以上25年未満	112	2.920	587	1	4	20年以上25年未満	112	2.920	587	1	4	25年以上30年未満	82	2.951	442	2	4	25年以上30年未満	82	2.951	442	2	4	30年以上	54	3.574	536	2	4	30年以上	54	3.574	536	2	4												
	10年以上15年未満	155	3.445	594	2	4		10年以上15年未満	155	3.187	556	2	4	10年以上15年未満	155	3.187	556	2	4	10年以上15年未満	155	3.187	556	2	4	15年以上20年未満	138	3.196	538	2	4	15年以上20年未満	138	3.196	538	2	4	20年以上25年未満	114	3.158	660	2	4	20年以上25年未満	114	3.158	660	2	4	25年以上30年未満	82	3.207	662	2	4	25年以上30年未満	82	3.207	662	2	4	30年以上	59	3.525	504	3	4	30年以上	58	3.362	583	2	4	30年以上	58	3.362	583	2	4																		
	15年以上20年未満	138	3.529	529	2	4		15年以上20年未満	137	3.161	545	2	4	15年以上20年未満	137	3.161	545	2	4	15年以上20年未満	137	3.161	545	2	4	20年以上25年未満	114	3.193	563	2	4	20年以上25年未満	114	3.193	563	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																				
	20年以上25年未満	114	3.456	612	1	4		20年以上25年未満	113	3.183	563	2	4	20年以上25年未満	113	3.183	563	2	4	20年以上25年未満	113	3.183	563	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																
	25年以上30年未満	81	3.519	573	2	4		25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																												
	30年以上	59	3.644	517	2	4		30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																																								
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	5年未満	44	3.205	509	2	4	a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	5年未満	45	3.111	487	2	4	5年未満	45	3.111	487	2	4	5年以上10年未満	192	3.078	500	1	4	5年以上10年未満	192	3.078	500	1	4	10年以上15年未満	155	2.968	540	1	4	10年以上15年未満	155	2.968	540	1	4	15年以上20年未満	136	2.941	452	2	4	15年以上20年未満	136	2.941	452	2	4	20年以上25年未満	112	2.920	587	1	4	20年以上25年未満	112	2.920	587	1	4	25年以上30年未満	82	2.951	442	2	4	25年以上30年未満	82	2.951	442	2	4	30年以上	54	3.574	536	2	4	30年以上	54	3.574	536	2	4						
	5年以上10年未満	187	3.460	521	2	4		5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	10年以上15年未満	155	3.335	562	2	4	10年以上15年未満	155	3.335	562	2	4	15年以上20年未満	135	3.289	487	2	4	15年以上20年未満	135	3.289	487	2	4	20年以上25年未満	114	3.325	540	2	4	20年以上25年未満	114	3.325	540	2	4	25年以上30年未満	82	3.293	533	2	4	25年以上30年未満	82	3.293	533	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4												
	10年以上15年未満	152	3.487	540	2	4		10年以上15年未満	155	3.323	534	1	4	10年以上15年未満	155	3.323	534	1	4	10年以上15年未満	155	3.323	534	1	4	15年以上20年未満	137	3.496	530	2	4	15年以上20年未満	137	3.496	530	2	4	20年以上25年未満	114	3.518	519	2	4	20年以上25年未満	114	3.518	519	2	4	25年以上30年未満	82	3.512	527	2	4	25年以上30年未満	82	3.512	527	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4																								
	15年以上20年未満	133	3.511	572	1	4		15年以上20年未満	137	3.394	520	2	4	15年以上20年未満	137	3.394	520	2	4	15年以上20年未満	137	3.394	520	2	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																				
	20年以上25年未満	108	3.426	567	1	4		20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																
	25年以上30年未満	77	3.532	528	2	4		25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																												
	30年以上	54	3.574	536	2	4		30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																																								
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	5年未満	44	3.227	522	2	4	a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	5年未満	45	3.067	654	1	4	5年未満	45	3.067	654	1	4	5年以上10年未満	192	3.125	667	2	4	5年以上10年未満	192	3.125	667	2	4	10年以上15年未満	155	3.187	556	2	4	10年以上15年未満	155	3.187	556	2	4	15年以上20年未満	138	3.196	538	2	4	15年以上20年未満	138	3.196	538	2	4	20年以上25年未満	114	3.158	660	2	4	20年以上25年未満	114	3.158	660	2	4	25年以上30年未満	82	3.207	662	2	4	25年以上30年未満	82	3.207	662	2	4	30年以上	59	3.525	504	3	4	30年以上	58	3.362	583	2	4	30年以上	58	3.362	583	2	4
	5年以上10年未満	193	3.487	522	2	4		5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	10年以上15年未満	155	3.335	562	2	4	10年以上15年未満	155	3.335	562	2	4	15年以上20年未満	135	3.289	487	2	4	15年以上20年未満	135	3.289	487	2	4	20年以上25年未満	114	3.325	540	2	4	20年以上25年未満	114	3.325	540	2	4	25年以上30年未満	82	3.293	533	2	4	25年以上30年未満	82	3.293	533	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4												
	10年以上15年未満	155	3.510	527	2	4		10年以上15年未満	155	3.323	534	1	4	10年以上15年未満	155	3.323	534	1	4	10年以上15年未満	155	3.323	534	1	4	15年以上20年未満	137	3.496	530	2	4	15年以上20年未満	137	3.496	530	2	4	20年以上25年未満	114	3.518	519	2	4	20年以上25年未満	114	3.518	519	2	4	25年以上30年未満	82	3.512	527	2	4	25年以上30年未満	82	3.512	527	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4	30年以上	59	3.492	537	2	4																								
	15年以上20年未満	138	3.471	569	1	4		15年以上20年未満	137	3.394	520	2	4	15年以上20年未満	137	3.394	520	2	4	15年以上20年未満	137	3.394	520	2	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																				
	20年以上25年未満	114	3.535	535	2	4		20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	20年以上25年未満	113	3.425	497	3	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																
	25年以上30年未満	82	3.585	496	3	4		25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	25年以上30年未満	82	3.427	522	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																												
	30年以上	59	3.525	504	3	4		30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4																																																																								
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	5年未満	44	3.227	476	2	4	a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	5年未満	44	3.159	608	2	4	5年未満	44	3.159	608	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	10年以上15年未満	154	3.221	629	2	4	10年以上15年未満	154	3.221	629	2	4	15年以上20年未満	137	3.161	545	2	4	15年以上20年未満	137	3.161	545	2	4	20年以上25年未満	114	3.193	563	2	4	20年以上25年未満	114	3.193	563	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	25年以上30年未満	82	3.232	573	2	4	30年以上	58	3.431	500	3	4	30年以上	58	3.431	500	3	4						
	5年以上10年未満	192	3.432	517	2	4		5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	5年以上10年未満	193	3.212	541	2	4	10年以上15年未満	155	3.335	562	2	4	10年以上15年未満	155	3.335	562	2	4	15年以上20年未満	135	3.289	487	2	4	15年以上20年未満	135	3.289	487	2	4	20年以上25年未満	114	3.325	540	2	4	20年以上25年未満	114	3.325	540	2	4	25年以上30年																																			

＜臨床経験年数別＞ Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)の記述統計

項目	属性	属性					項目	属性	属性				
		度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値			度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	5年未満	45	2.756	.743	1	4	b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	5年未満	43	2.558	.548	2	4
	5年以上10年未満	192	3.021	.686	1	4		5年以上10年未満	191	2.351	.655	1	4
	10年以上15年未満	155	2.871	.762	1	4		10年以上15年未満	154	2.370	.723	1	4
	15年以上20年未満	138	2.703	.758	1	4		15年以上20年未満	135	2.467	.761	1	4
	20年以上25年未満	114	2.737	.705	1	4		20年以上25年未満	112	2.357	.758	1	4
	25年以上30年未満	81	2.728	.806	1	4		25年以上30年未満	81	2.222	.548	1	4
	30年以上	58	2.741	.785	1	4		30年以上	58	2.414	.563	2	4
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	5年未満	45	2.889	.714	2	4	b24 小児治験に関する作業内容がわからない	5年未満	45	2.822	.614	1	4
	5年以上10年未満	192	3.214	.695	1	4		5年以上10年未満	190	2.621	.662	1	4
	10年以上15年未満	155	3.265	.635	2	4		10年以上15年未満	154	2.455	.687	1	4
	15年以上20年未満	137	3.226	.581	2	4		15年以上20年未満	138	2.254	.617	1	4
	20年以上25年未満	114	3.211	.685	2	4		20年以上25年未満	113	2.159	.606	1	4
	25年以上30年未満	82	3.159	.728	2	4		25年以上30年未満	80	2.175	.632	1	3
	30年以上	58	3.172	.625	2	4		30年以上	58	2.086	.629	1	3
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	5年未満	45	2.600	.654	2	4	b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	5年未満	44	2.795	.509	2	4
	5年以上10年未満	193	2.793	.713	1	4		5年以上10年未満	193	2.399	.596	1	4
	10年以上15年未満	155	2.781	.750	1	4		10年以上15年未満	154	2.318	.654	1	4
	15年以上20年未満	138	2.833	.721	1	4		15年以上20年未満	136	2.279	.605	1	4
	20年以上25年未満	114	2.658	.739	1	4		20年以上25年未満	113	2.133	.526	1	4
	25年以上30年未満	82	2.659	.724	1	4		25年以上30年未満	81	2.185	.550	1	3
	30年以上	58	2.724	.586	2	4		30年以上	58	2.052	.544	1	3
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	5年未満	43	3.047	.653	2	4	b28 有害事象時の対応が可能か不安である	5年未満	44	2.977	.549	2	4
	5年以上10年未満	193	3.093	.647	1	4		5年以上10年未満	193	2.891	.607	1	4
	10年以上15年未満	154	3.221	.669	1	4		10年以上15年未満	154	2.786	.605	1	4
	15年以上20年未満	138	3.152	.638	1	4		15年以上20年未満	137	2.708	.558	1	4
	20年以上25年未満	114	3.167	.690	2	4		20年以上25年未満	113	2.558	.654	1	4
	25年以上30年未満	82	3.110	.703	2	4		25年以上30年未満	82	2.585	.647	1	4
	30年以上	59	3.119	.672	2	4		30年以上	58	2.569	.596	2	4
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	5年未満	44	2.273	.499	1	3	b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	5年未満	43	2.209	.466	1	3
	5年以上10年未満	190	2.289	.587	1	4		5年以上10年未満	192	2.151	.544	1	4
	10年以上15年未満	154	2.409	.663	1	4		10年以上15年未満	154	2.162	.599	1	4
	15年以上20年未満	137	2.482	.631	1	4		15年以上20年未満	135	2.133	.557	1	4
	20年以上25年未満	113	2.531	.628	1	4		20年以上25年未満	111	2.081	.605	1	4
	25年以上30年未満	81	2.420	.567	1	4		25年以上30年未満	82	2.085	.502	1	4
	30年以上	56	2.500	.632	1	4		30年以上	57	2.105	.524	1	4
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	5年未満	44	3.159	.568	2	4	b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	5年未満	44	2.773	.565	2	4
	5年以上10年未満	192	3.302	.563	2	4		5年以上10年未満	192	2.880	.533	2	4
	10年以上15年未満	154	3.357	.579	2	4		10年以上15年未満	155	2.729	.627	1	4
	15年以上20年未満	137	3.336	.585	1	4		15年以上20年未満	136	2.449	.653	1	4
	20年以上25年未満	114	3.254	.663	1	4		20年以上25年未満	112	2.339	.665	1	4
	25年以上30年未満	82	3.134	.624	1	4		25年以上30年未満	81	2.506	.615	1	4
	30年以上	59	3.119	.458	2	4		30年以上	58	2.293	.649	1	3
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	5年未満	43	3.023	.707	1	4	b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	5年未満	44	2.614	.538	2	4
	5年以上10年未満	193	2.896	.667	1	4		5年以上10年未満	189	2.344	.622	1	4
	10年以上15年未満	154	2.948	.684	1	4		10年以上15年未満	154	2.227	.566	1	4
	15年以上20年未満	138	2.906	.672	1	4		15年以上20年未満	135	2.119	.533	1	3
	20年以上25年未満	113	2.894	.686	1	4		20年以上25年未満	113	2.097	.534	1	4
	25年以上30年未満	82	2.890	.667	2	4		25年以上30年未満	81	2.086	.505	1	3
	30年以上	59	2.847	.665	2	4		30年以上	57	2.018	.517	1	3
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	5年未満	42	2.929	.640	2	4	b36 子どもを対象として治験を行うことがためられる	5年未満	44	2.318	.518	1	3
	5年以上10年未満	192	2.818	.599	1	4		5年以上10年未満	190	2.100	.605	1	4
	10年以上15年未満	153	2.843	.680	1	4		10年以上15年未満	154	2.130	.674	1	4
	15年以上20年未満	138	2.783	.636	1	4		15年以上20年未満	137	2.022	.549	1	4
	20年以上25年未満	113	2.788	.661	1	4		20年以上25年未満	113	2.071	.530	1	3
	25年以上30年未満	82	2.768	.690	2	4		25年以上30年未満	82	2.012	.458	1	3
	30年以上	58	2.776	.677	2	4		30年以上	58	1.931	.454	1	3
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	5年未満	44	2.886	.618	2	4	b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	5年未満	44	2.636	.685	1	4
	5年以上10年未満	191	2.880	.712	1	4		5年以上10年未満	192	2.500	.694	1	4
	10年以上15年未満	154	2.922	.719	1	4		10年以上15年未満	153	2.601	.719	1	4
	15年以上20年未満	138	2.754	.692	1	4		15年以上20年未満	137	2.431	.628	1	4
	20年以上25年未満	113	2.708	.690	1	4		20年以上25年未満	114	2.430	.665	1	4
	25年以上30年未満	82	2.744	.699	2	4		25年以上30年未満	80	2.475	.656	1	4
	30年以上	58	2.707	.726	1	4		30年以上	58	2.500	.600	1	4
b20 小児治験に対して興味や関心がない	5年未満	44	1.955	.608	1	3	b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	5年未満	43	2.767	.571	1	4
	5年以上10年未満	192	1.823	.522	1	3		5年以上10年未満	190	2.537	.605	1	4
	10年以上15年未満	155	1.800	.618	1	4		10年以上15年未満	153	2.595	.653	1	4
	15年以上20年未満	138	1.783	.601	1	3		15年以上20年未満	134	2.582	.617	1	4
	20年以上25年未満	113	1.770	.598	1	4		20年以上25年未満	113	2.416	.664	1	4
	25年以上30年未満	81	1.753	.582	1	3		25年以上30年未満	80	2.450	.571	1	4
	30年以上	58	1.759	.540	1	3		30年以上	57	2.474	.570	1	3

<臨床経験年数別> B:小児治療の課題に対する意識の記述統計

項目	属性	属性				項目	属性					
		人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合		
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	5年未満	44	2.886	618	1	51 行政的な小児治療支援システムが構築される必要がある	5年未満	44	3.250	438	3	4
	5年以上10年未満	190	3.063	521	1		5年以上10年未満	190	3.268	511	1	4
	10年以上15年未満	155	3.071	485	2		10年以上15年未満	155	3.310	565	2	4
	15年以上20年未満	138	2.993	372	2		15年以上20年未満	136	3.375	530	2	4
	20年以上25年未満	113	2.991	509	2		20年以上25年未満	113	3.398	527	2	4
	25年以上30年未満	82	2.927	409	2		25年以上30年未満	82	3.402	518	2	4
	30年以上	57	2.965	376	2		30年以上	57	3.368	587	2	4
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	5年未満	44	3.455	548	2	52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	5年未満	44	3.500	506	3	4
	5年以上10年未満	192	3.380	508	2		5年以上10年未満	191	3.403	533	1	4
	10年以上15年未満	155	3.452	512	2		10年以上15年未満	155	3.503	551	1	4
	15年以上20年未満	138	3.370	484	3		15年以上20年未満	138	3.406	493	3	4
	20年以上25年未満	114	3.316	537	1		20年以上25年未満	114	3.368	502	2	4
	25年以上30年未満	83	3.337	476	3		25年以上30年未満	81	3.333	474	3	4
	30年以上	58	3.276	451	3		30年以上	58	3.414	531	2	4
43 専門性の高い小児治療コーディネーターを育成する必要がある	5年未満	44	3.455	589	2	53 有害事象発生時の支援体制があると良い	5年未満	43	3.558	502	3	4
	5年以上10年未満	192	3.349	520	2		5年以上10年未満	192	3.448	509	2	4
	10年以上15年未満	155	3.406	589	1		10年以上15年未満	155	3.523	539	2	4
	15年以上20年未満	137	3.350	523	2		15年以上20年未満	138	3.442	498	3	4
	20年以上25年未満	114	3.368	520	2		20年以上25年未満	114	3.430	532	2	4
	25年以上30年未満	82	3.329	546	1		25年以上30年未満	83	3.494	503	3	4
	30年以上	58	3.293	496	2		30年以上	57	3.404	530	2	4
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	5年未満	44	3.477	505	3	54 小児治療コーディネーターが病院内に常駐できると良い	5年未満	43	3.047	754	1	4
	5年以上10年未満	192	3.385	509	2		5年以上10年未満	191	3.246	678	1	4
	10年以上15年未満	155	3.458	549	1		10年以上15年未満	155	3.348	651	1	4
	15年以上20年未満	138	3.370	514	2		15年以上20年未満	137	3.314	627	1	4
	20年以上25年未満	114	3.342	529	2		20年以上25年未満	113	3.336	621	2	4
	25年以上30年未満	82	3.305	463	3		25年以上30年未満	82	3.329	630	1	4
	30年以上	58	3.310	503	2		30年以上	58	3.328	574	2	4
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	5年未満	44	3.250	488	2	55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	5年未満	44	3.295	632	2	4
	5年以上10年未満	192	3.063	602	1		5年以上10年未満	192	3.203	565	2	4
	10年以上15年未満	154	3.104	596	1		10年以上15年未満	154	3.240	616	1	4
	15年以上20年未満	138	3.072	535	1		15年以上20年未満	138	3.159	570	2	4
	20年以上25年未満	113	3.018	582	2		20年以上25年未満	111	3.144	585	1	4
	25年以上30年未満	82	3.024	471	2		25年以上30年未満	81	3.123	556	1	4
	30年以上	57	3.070	623	2		30年以上	58	3.241	540	2	4
46 「実験台にされる」という小児治療に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	5年未満	44	3.364	650	1	56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	5年未満	44	3.318	561	2	4
	5年以上10年未満	192	3.271	569	1		5年以上10年未満	191	3.372	546	2	4
	10年以上15年未満	155	3.303	596	1		10年以上15年未満	153	3.307	599	2	4
	15年以上20年未満	138	3.188	548	2		15年以上20年未満	138	3.254	580	2	4
	20年以上25年未満	114	3.254	494	2		20年以上25年未満	112	3.232	569	2	4
	25年以上30年未満	83	3.265	471	2		25年以上30年未満	83	3.193	594	2	4
	30年以上	58	3.276	488	2		30年以上	58	3.224	594	2	4
47 小児治療への認識を高めるために情報公開をする必要がある	5年未満	44	3.341	479	3	57 小児治療の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	5年未満	44	3.295	462	3	4
	5年以上10年未満	192	3.292	489	2		5年以上10年未満	191	3.319	500	2	4
	10年以上15年未満	155	3.381	550	1		10年以上15年未満	155	3.400	565	2	4
	15年以上20年未満	138	3.217	537	2		15年以上20年未満	138	3.362	512	2	4
	20年以上25年未満	114	3.254	512	2		20年以上25年未満	113	3.372	521	2	4
	25年以上30年未満	83	3.349	480	3		25年以上30年未満	83	3.494	503	3	4
	30年以上	57	3.368	555	2		30年以上	58	3.500	504	3	4
48 小児治療への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	5年未満	44	3.386	493	3	58 小児治療に精通した医師を養成する必要がある	5年未満	44	3.159	608	2	4
	5年以上10年未満	192	3.177	512	1		5年以上10年未満	192	3.219	555	2	4
	10年以上15年未満	154	3.279	577	1		10年以上15年未満	155	3.219	657	1	4
	15年以上20年未満	137	3.095	498	2		15年以上20年未満	137	3.153	554	2	4
	20年以上25年未満	113	3.088	591	1		20年以上25年未満	113	3.204	585	2	4
	25年以上30年未満	83	3.024	540	1		25年以上30年未満	83	3.193	529	2	4
	30年以上	57	3.088	576	2		30年以上	58	3.155	556	2	4
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	5年未満	44	3.295	462	3	59 小児治療への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	5年未満	44	3.205	408	3	4
	5年以上10年未満	192	3.370	535	2		5年以上10年未満	192	3.177	522	1	4
	10年以上15年未満	155	3.432	535	2		10年以上15年未満	154	3.162	588	1	4
	15年以上20年未満	137	3.409	508	2		15年以上20年未満	137	3.080	515	2	4
	20年以上25年未満	114	3.395	526	2		20年以上25年未満	112	3.080	556	1	4
	25年以上30年未満	82	3.451	501	3		25年以上30年未満	83	3.048	623	1	4
	30年以上	58	3.552	502	3		30年以上	57	3.105	524	2	4
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	5年未満	44	3.136	409	2	60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	5年未満	43	3.209	412	3	4
	5年以上10年未満	187	3.032	507	2		5年以上10年未満	188	3.133	483	2	4
	10年以上15年未満	152	3.059	601	1		10年以上15年未満	152	3.211	559	2	4
	15年以上20年未満	135	3.074	581	1		15年以上20年未満	137	3.226	470	2	4
	20年以上25年未満	113	3.106	588	2		20年以上25年未満	111	3.243	591	1	4
	25年以上30年未満	81	3.235	531	2		25年以上30年未満	82	3.244	466	2	4
	30年以上	57	3.193	480	2		30年以上	58	3.276	488	2	4

＜臨床経験年数別＞
C:小児治療の参加に対する意識の記述統計

項目	属性	度数	平均値	標準偏差	最小値	最大値
61 現在自分は小児治療に積極的に取り組んでいる	5年未満	43	1.605	.541	1	3
	5年以上10年未満	192	1.896	.765	1	4
	10年以上15年未満	153	2.059	.788	1	4
	15年以上20年未満	138	2.283	.792	1	4
	20年以上25年未満	113	2.416	.853	1	4
	25年以上30年未満	83	2.482	.786	1	4
	30年以上	59	2.542	.916	1	4
62 自分には小児治療に取り組むための知識・技能がある	5年未満	43	1.558	.502	1	2
	5年以上10年未満	192	1.859	.652	1	4
	10年以上15年未満	152	2.138	.691	1	4
	15年以上20年未満	137	2.431	.705	1	4
	20年以上25年未満	113	2.558	.640	1	4
	25年以上30年未満	83	2.723	.704	1	4
	30年以上	58	2.741	.664	1	4
63 現在自分は小児治療に積極的に取り組むことのできる環境にいる	5年未満	43	2.581	.783	1	4
	5年以上10年未満	192	2.500	.793	1	4
	10年以上15年未満	153	2.621	.679	1	4
	15年以上20年未満	138	2.688	.723	1	4
	20年以上25年未満	113	2.779	.665	1	4
	25年以上30年未満	83	2.843	.671	1	4
	30年以上	59	2.661	.801	1	4
64 今後自分は小児治療に積極的に取り組んでいきたい	5年未満	43	2.698	.674	1	4
	5年以上10年未満	189	2.698	.627	1	4
	10年以上15年未満	153	2.745	.613	1	4
	15年以上20年未満	137	2.759	.625	1	4
	20年以上25年未満	110	2.809	.613	1	4
	25年以上30年未満	83	2.928	.640	1	4
	30年以上	58	2.914	.571	2	4

<臨床経験年数別> Aa:小児治験の実施に対する意識(促進要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由 度	F 値	有意 確率
a01 小児用として承認された薬剤が稀少である	グループ間 グループ内	6 778	6.428	0.000
a03 小児用医薬品の開発が促進されなければならない	グループ間 グループ内	6 748	2.546	0.019
a05 他国で小児用に承認されている薬剤の国内承認を進める必要がある	グループ間 グループ内	6 778	2.489	0.022
a07 小児治験によって得られるデータは有用である	グループ間 グループ内	6 774	1.609	0.142
a09 オフラベル(適応外使用)問題を解決することが望ましい	グループ間 グループ内	6 778	2.501	0.021
a11 小児治験に参加すると研究費が病院の収入になるのが良い	グループ間 グループ内	6 765	1.414	0.206
a13 未承認薬でも必要とする患児がいるため使用せざるを得ない	グループ間 グループ内	6 775	1.271	0.268
a15 小児治験への参加は小児科医として必要である	グループ間 グループ内	6 769	2.907	0.008
a17 小児用薬品の安全性の確保が必要である	グループ間 グループ内	6 779	0.946	0.461
a19 小児治験に参加することで医師も新たな知識を得ることができる	グループ間 グループ内	6 776	2.042	0.058
a21 安全性が確認された治療薬の選択肢が乏しい	グループ間 グループ内	6 777	0.421	0.865
a23 小児治験に参加することで医師も学問的関与の機会が増える	グループ間 グループ内	6 774	2.141	0.047
a25 小児用薬剤の安全性の検討は成人用と比べて極めて少ない	グループ間 グループ内	6 777	1.419	0.204
a27 新薬が早く開発されることによって助かる命も多くなる	グループ間 グループ内	6 775	0.413	0.871
a29 根拠に基づく科学的な医療が行われなければならない	グループ間 グループ内	6 775	0.340	0.916
a31 新薬を使用することは患児への貢献となる	グループ間 グループ内	6 759	1.348	0.233
a33 小児用医薬品についてエビデンスを積み重ねなければならない	グループ間 グループ内	6 777	1.026	0.407
a35 有効な治療薬の開発に寄与したい	グループ間 グループ内	6 770	1.124	0.346
a37 小児医療の質を向上させなければならない	グループ間 グループ内	6 777	0.463	0.836
a39 新薬の開発に関する研究に貢献していきたい	グループ間 グループ内	6 770	1.602	0.144

＜臨床経験年数別＞ Ab:小児治験の実施に対する意識(阻害要因)得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
b02 小児治験は入院病棟のある施設で行うことが望ましい	グループ間 グループ内	6 776	3.648	0.001
b04 人手不足により日常診療業務をこなすのに精一杯である	グループ間 グループ内	6 776	2.020	0.061
b06 日常の診療業務に追われていて小児治験に参加する時間的余裕がない	グループ間 グループ内	6 778	1.355	0.230
b08 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための労力が負担である	グループ間 グループ内	6 776	0.757	0.604
b10 小児治験よりも他の研究のために時間を費やしたい	グループ間 グループ内	6 768	2.838	0.010
b12 小児治験での手間のかかる煩雑な事務手続きが負担である	グループ間 グループ内	6 775	2.621	0.016
b14 小児治験について患児へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	6 775	0.429	0.860
b16 小児治験は責任が重大であり負担である	グループ間 グループ内	6 771	0.451	0.844
b18 小児治験について保護者へ説明することが難しい	グループ間 グループ内	6 773	1.928	0.074
b20 小児治験に対して興味や関心がない	グループ間 グループ内	6 774	0.781	0.585
b22 小児治験の参加について患児の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	6 767	1.680	0.123
b24 小児治験に関する作業内容がわからない	グループ間 グループ内	6 771	14.819	0.000
b26 小児治験の参加について患児の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	6 772	9.953	0.000
b28 有害事象時の対応が可能か不安である	グループ間 グループ内	6 774	6.710	0.000
b30 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得ることができない	グループ間 グループ内	6 767	0.523	0.791
b32 小児治験の実施について詳細を知る機会がない	グループ間 グループ内	6 771	15.897	0.000
b34 小児治験の参加について保護者の理解と同意を得るための方法がわからない	グループ間 グループ内	6 766	8.803	0.000
b36 子どもを対象として治験を行うことがためられる	グループ間 グループ内	6 771	2.604	0.017
b38 小児治験に参加しようとする患児や保護者は少ない	グループ間 グループ内	6 771	1.346	0.234
b40 経験済みの使い慣れた薬物で治療を進めたい	グループ間 グループ内	6 763	2.421	0.025

<臨床経験年数別> B:小児治験の課題に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由 度	F 値	有意 確率
41 患児の代理判断の仕組みについて検討する必要がある	グループ間 グループ内	6 772	1.892	0.080
42 患児や保護者とのトラブル発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	6 777	1.498	0.176
43 専門性の高い小児治験コーディネーターを育成する必要がある	グループ間 グループ内	6 775	0.630	0.706
44 患児との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	6 776	1.432	0.199
45 開業医でも参加しやすいシステムが整備されると良い	グループ間 グループ内	6 773	1.072	0.378
46「実験台にされる」という小児治験に対する被害的なイメージを変えていく必要がある	グループ間 グループ内	6 777	0.820	0.554
47 小児治験への認識を高めるために情報公開をする必要がある	グループ間 グループ内	6 776	1.698	0.119
48 小児治験への参加によって保護者が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	6 773	4.254	0.000
49 適応外使用の現状について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	6 775	1.419	0.204
50 製薬会社へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	6 762	1.780	0.100
51 行政的な小児治験支援システムが構築される必要がある	グループ間 グループ内	6 770	1.401	0.211
52 保護者との間に良好な信頼関係を築く必要がある	グループ間 グループ内	6 774	1.458	0.190
53 有害事象発生時の支援体制があると良い	グループ間 グループ内	6 775	0.897	0.496
54 小児治験コーディネーターが病院内に常駐できると良い	グループ間 グループ内	6 772	1.569	0.153
55 保護者だけでなく子ども自身に対しても十分な説明が必要である	グループ間 グループ内	6 771	0.876	0.512
56 患児自身に利益があるかを中心に考える必要がある	グループ間 グループ内	6 772	1.474	0.184
57 小児治験の必要性について社会全体に啓発していく必要がある	グループ間 グループ内	6 775	1.895	0.079
58 小児治験に精通した医師を養成する必要がある	グループ間 グループ内	6 775	0.294	0.940
59 小児治験への参加によって患児が抱える心理社会的問題へのケアが必要である	グループ間 グループ内	6 772	1.133	0.341
60 医師へのインセンティブを考慮する必要がある	グループ間 グループ内	6 764	1.033	0.403

<臨床経験年数別> C:小児治験の参加に対する意識得点の差 (分散分析)

項目		自由度	F 値	有意確率
61 現在自分は小児治験に積極的に取り組んでいる	グループ間	6	14.588	0.000
	グループ内	774		
62 自分には小児治験に取り組むための知識・技能がある	グループ間	6	37.250	0.000
	グループ内	771		
63 現在自分は小児治験に積極的に取り組むことのできる環境にいる	グループ間	6	3.098	0.005
	グループ内	774		
64 今後自分は小児治験に積極的に取り組んでいきたい	グループ間	6	2.034	0.059
	グループ内	766		